

ずしスポ推だより

第19号

令和5年度総会報告

四月十四日(金)令和5年度、逗子市スポーツ推進委員協議会総会が開催され、令和4年度事業報告・決算報告、令和5年度の事業計画・予算案が承認されました。

会長挨拶 令和5年度について

令和5年度がスタートしました。コロナに対する考え方も変わり、私たちの生活も急速にコロナ前の生活に戻る事が期待されます。そのような中、私たちスポーツ推進委員の役割はスポーツを通して元気な街づくりを推進して行くことだと思えます。私たちは今までも、誰もが楽しめて、笑顔になれるスポーツを紹介する活動をしてきました。今年も変わりなくこの活動を進めて行くように思います。皆さんのアイデアを元にさらにワクワクすることをしたいと思います。是非皆さんと一緒に面白い街づくりを進めていきましょう。(松井 弘喜)

令和4年度の活動

第63回全国スポーツ推進委員研究協議会(滋賀大会)

十一月十七日(木)、十八日(金)の二日間、三年ぶりに滋賀県草津市で開催。コロナ禍ということで参加人数を絞られ、逗子からは、高木副会長、岩下晃委員、山上和子の3名が出席しました。

十七日の全体会はYMTアリーナで開会式・表彰式・講演・シンポジウムが行われ、東京2020パラリンピック・トライアスロン銀メダリストの宇田秀生さんの演題「今しかできない事」のお話に感銘を受けました。生まれて26年間は健常者として、子供時代は活発なサッカー少年。しかし結婚して10日足らずで仕事の事故で利き腕の右腕を肩から失った事。その後、ラトラライアスロンに出会い、選手として数々の世界大会で活躍。愛する奥様と子供達にも恵まれ、ベストファーザー賞も頂いて、今は充実して幸せと語る笑顔がとて素敵でした。十八日は栗東市で、第二分科会に参加。スポーツを通じた共生社会の実現に向けての推進委員の関りについて話し合われ、二日間の大会を終了しました。

今大会に於いて、岩下さんは功労賞を、私は文部科学大臣賞を頂きました。体育指導委員(現スポーツ推進委員)を拜命して39年余り、大きなご褒美を頂き光栄に思っております。十二月二日、松井会長と桐ヶ谷市長を表敬訪問し、活動に対して感謝と労いの言葉を頂きました。

(山の根 山上和子)



山上さん(左)、岩下さん(右)おめでとうございます

県スポーツ推進委員大会

二月五日(日)相模原市の相模女子大学グリーンホールにて開催。琴心流大正琴の演奏や桜美林大学チアリーディング部による演技のアトラク

ションの後、表彰式が行われ、当協議会前会長の相川さんが功労者表彰を受けました。会場も小田急線相模大野駅と比較的近く、参加者も少なかったため、公共交通機関を使っておきました。



相川さんおめでとうございます。



実技研修会

【救急救命講習】

コロナ対策で密を避ける為、逗子アリーナで行えず、逗子消防署本部で、一回の受講者を6名に小分けにして、六月十八日(土)に2回、二十五日(土)に1回、計18名が受講しました。

備えあれば憂い無し「いざという時」のために胸骨圧迫とAEDの講習で、町中で遭遇することは稀かもしれませんが(無いことを祈ります)が、救助のガイドラインも少しずつ変わるとの事。家中で起こる事も想定して冷静に対処できるように、即戦力のためには定期的に受講した方が良くと実感しました。



救急救命講習

【十八日 ソフトバレーボール研修】

軽く柔らかいボール、ネットを挟んで年齢関係なく楽しめる生涯スポーツを体験。学生時代に若干のバレーボール経験はあるものの、「あれ〜」どこに飛んで

いつてしまうの?と始めは困惑。ボールは柔らかく大きめ、力加減の難しさはありますが、痛くないのですぐ慣れます。

配布資料に「ソフトバレーが強くなる極意は、常に声かけできること」とあり、まずは声掛けすることで初めて会うメンバーともプレーを通して仲良くなる楽しさも味わえます。久々に熱い汗をかい、ストレス発散、爽快な気分になりました。(逗子 津久井加代子)



ソフトバレーボールの講習

体力テスト会

コロナの為に中止されていた体力テスト会が十月十日(祝)逗子アリーナで行われました。

今年、通常の20才〜64才枠、65歳以上の枠に加え、新しく3才から就学前児の体力測定が組み込まれ、この時間からは多くの親子連れで賑わいました。

種目は、両足連続跳び越し、立ち幅跳び、後方ハイハイ走、25m走、テニスボール投げ、両手で体を支えるなどバラエティに富んでいます。

次々に種目をこなして張り切る子供たちのほか、スポーツが得意でない子供も簡単な種目があるからと背中を押され、その後夢中になって取り組む姿が印象的でした。

また、親も子どもテストに参加できるため、「お父さん、がんばれー!」などと声が上がって、運動会の様な、良い親子のコミュニケーションにもなっていて、久しぶりの開催を楽しんだ様子でした。(久木 宮澤久美)



後方ハイハイ走

横三ブロック研修会

十月二十九日(土)逗子アリーナに於いて、横三ブロック研修会が逗子担当で52名の参加のもと開催されました。

3年ぶりの開催となり、他地域の久しぶりに会うメンバーや、新しい推進委員も多く参加がありました。県からは平井副会長も来ていただき一緒に研修に参加されました。

研修はポッチャとモルックを行い、ポッチャは研修や大会も何回か行っているの

で、今回はボールの距離を測る計測具の使い方や時間の計測の仕方など審判研修を目的に松井会長が中心になって研修を行い、質問も多く有意義な研修になりました。モルックは逗子では研修を何度か行っていますが、他地域の方は初めての方も多く逗子の推進委員が指導しながら和気あいあいと研修が出来ました。(小坪 佐藤千香)



スポーツの祭典

十月十六日(日)逗子アリーナ・第一運動公園で開催。

昨年同様ボッチャ、モルックと今年度はソフトバレーボールやインディアカの手伝いも行いました。

ボッチャ担当は、パラリンピックで使われた重いコートを敷く為、力仕事で苦労しますが、このコートでやりたいと、結構人氣が有ります。

又、この日は天気が良く、第一運動公園にも来場者が多く訪れ、モルックにも多くの人が体験し、50点オーバーしては大はしゃぎ。「楽しかった!」の感想に、「日曜日午後ここでやりますから来て下さい」とPRしたのですが、来てくれた人がいなかったのは、残念です。



桐ヶ谷市長チームと対戦するのは・・・

オリエンテーリング

十二月三日(土)一昨年と同様に、第一運動公園のショートコースと、池子の森自然公園のロングコースで、スポーツ推進員28名、競技参加者42名の参加で行われました。

当日は近隣の小学校やアリーナでのイベントと重なったこと、チラシの配布などが遅れってしまったことが影響してか、期待していた参加人数にはなりません。

事前登録で参加した家族と第一運動公園でサツカアの練習に来ていた子供たちを呼び込んでかろうじて12組のチームで実施しました。

前回は雨で取りやめた池子の森自然公園のコース。ここをもっと知って貰いたく、野外活動センターの職員さんにも協力をお願いするなど工夫したのですが、12組の内3組しか行かなかった事。また、行った組の中にはハイキング気分になって、なかなか戻って来ないなど、次回のオリエンテーリングへの課題などがわかった大会で



50点目指して・・・ エイ!

した。

そのあと、数人の有志が残り 午後からの「みんなでスポーツ」でボッチャを担当して終わりました。

今回一番喜んだのは運動公園に練習に来て参加して、参加の景品をもらった子供たちでした。(新宿 松井弘喜)



参加賞を貰って嬉しそう



この問題わかるかな

県スポーツ推進委員研修会

十一月二十三日(祝)横須賀市総合体育館(不入斗)に於いて、生憎の雨天にもかかわらず171名の参加のもと県スポーツ推進委員の研修会が行われました。

開会式のあと早速研修会の開始です。今回の内容は「骨(ほね)ナビ体操」。ホネナビとは骨と関節を意識し、体を誘導(ナビ)する4つのメソッドがあり実践する事により体の歪みを整え、疲れにくく、怪我をしにくい体が入るとの説明。実践では2人で組になり互いの背骨を軽く指でタッピングすることで前屈、後屈が楽になる事を実感しました。最も注目したのは、「痛い事はしない」「痛くない方を積極的に動かす」との事です。自身の身体全体の骨・関節を手や指先でリズムカルにやさしく響く様にタッピングする事で心地良さを感じつつ血流も良くなり身体が整っていきます。

主任講師のたくみ氏、補佐して下さった4名の講師の方々の分かりやすい指導のおかげで充実した研修となりました。今回の「骨ナビ体操」はスポーツを楽しんでいる方々をはじめ広い年代の方々にもぜひ伝えていきたいと思ひ研修を終りました。研修会を設定して下さいました実行委員会の皆様有難うございました。(久木 鈴木美枝子)

第70回 逗子市内一周駅伝大会

一月八日(日)に、今年は節目となる第70回市内一周駅伝競走大会が31チームの参加により開催されました。今回から選手の出場資格が、前回の大会や過去1年以内に実施された3キロ以上の他の大会で、タイムが1キロ4分30秒以内と参加条件が厳しくなった為、総合タイムが2時間を超えたのは1チームだけと、全体的にレベルアップした大会となりました。



小坪チームの皆さん、3連覇おめでとうございます

地域対抗の部では、沼間と新宿が直前になって棄権したのが残念でしたが、小坪Aチームが前回の優勝タイムを上回る1時間36分36秒で、2度目となる3連覇を達成しました。今年のチームは、新しい選手の加入がなく昨年と同じメンバーでしたが、他のチームと比べて平均年齢が高いにもかかわらず、レベルアップしてきた選手もいて、Bチームも6位入賞と健闘しました。毎年同じメンバーが、次の年もレベルを上げて参加するというのが、小坪チームの強みだと思います。来年は過去にやったことのない、4連覇を目指して頑張りたいと思います。

最後になりましたが、コロナ禍や公道を走るための交通整理といった、数多くの難題を乗り越えて開催してくださった関係者の皆様に感謝致します。

(小坪 飯田博茂)

ポッチャ大会

三月十八日(土)、3年ぶりのポッチャ大会が開催されました。地上のカーリングとも呼ばれるポッチャ。東京パラリンピックでの日本チームの活躍も記憶に新しい中、参加8チームによる熱戦が繰り広げられました。

究極のユニバーサルスポーツとも言われていますが、今回もヨチヨチ歩きのお子様から大ベテランまで幅広い層の方にご参加いただきました。予選は2ブロック各4チームが総当たり戦で競い、各ブロックの同順位のチーム同士が順位決定戦を行いました。

ベテラン3人組チームは、小学生チームとの接戦をものにして第3位。準優勝の親子チームは、小さなお子様を背に笑顔の投球が光りました。優勝は、チームワークが抜群で、戦略にも長けた経験者ぞろい?の中学生チーム。初めてポッチャを経験したチームも大健闘する中、来年の活躍・リベンジを誓って、和やかな雰囲気の中で盛大に表彰式が行われました。来年はより多くのチームの参加をお待ちしています。

(久木 高田次郎)



小さなお子さんを背負って、お母さん頑張ってます

◎令和4年度新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となった大会や当会関連の事業

関東スポーツ推進委員研究大会
家族交流会

<p>広報委員会 石渡真澄・笠原恵子・ 松井弘喜・佐藤千香・高木 彰</p>
<p>発行/逗子市スポーツ推進委員協議会 事務所/逗子市役所 市民協働部文化スポーツ課 TEL/046-873-1111 (内線277、278) 発行責任者/松井 弘喜</p>

編集後記

ワクチン効果や変異株になって毒性(重症化)も薄れて、行動制限が緩くなり、感染に気を付けたやり方にも慣れて、今年度は多くの行事が戻ってきましたが、家族交流会だけは出来ずにいます。各委員との懇親が出来るこの行事を早く再開したいですね。

(M . I)